

# 産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和4年1月7日（金曜日）

午後 1時30分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午後 2時30分 散会

## 付託事件

- (1) 令和3年陳情第6号
- (2) 所管事務調査

## 1 本日の会議に付した事件

### (1) 陳情審査

- ① 令和3年陳情第6号 コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情

### (2) 報告事項

- ① 令和3年度 偕楽園開園180年記念 第126回水戸の梅まつりについて (観光課)
- ② 南消防署緑岡出張所改築について (消防総務課)
- ③ 水戸市女性防火クラブ連合会創立30周年記念事業について (火災予防課)

### (3) その他

## 2 出席委員（7名）

委員長	飯田正美君	副委員長	後藤通子君
委員	小泉康二君	委員	渡辺政明君
委員	内藤丈男君	委員	五十嵐博君
委員	安藏栄君		

## 3 欠席委員（なし）

## 4 委員外議員出席者（1名）

議員 田中真己君

## 5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	鈴木吉昭君	産業経済部参事	川崎幹男君
産業経済部参事兼商工課長	長谷川昌人君	産業経済部技監兼農政課長	深澤和広君
観光課長	小林一仁君	農業環境整備課長	三村隆君
農産振興課長	後藤俊之君	公設地方卸売市場長	宮田正一君

消 防 局 長	小 泉 直 紀 君	消 防 次 長	大 内 康 弘 君
消 防 局 参 事	箕 輪 重 美 君	消 防 局 参 事 兼 火 災 予 防 課 長	石 田 宏 一 君
北 消 防 署 長	青 木 剛 君	南 消 防 署 長	勝 村 俊 則 君
消 防 総 務 課 長	猿 田 純 夫 君	消 防 救 助 課 長	大 信 成 人 君
救 急 課 長	栗 原 政 人 君		
農 業 委 員 会 事 務 局 長	横 山 英 雄 君	農 業 委 員 会 事 務 局 次 長	吉 川 正 浩 君

6 事務局職員出席者

書 記	大 内 し お り 君	書 記	島 田 祐 輔 君
-----	-------------	-----	-----------

午後 1時30分 開議

○飯田委員長 明けましておめでとうございます。

本年も昨年同様、よろしく申し上げます。

それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

議事に入ります前に、2022年水戸の梅大使を御紹介いたします。

それでは、水戸の梅大使の紹介をお願いします。

○小林観光課長 報告案件に入ります前に、2022年水戸の梅大使を紹介させていただきたいと存じます。

では、一同、礼。

2022年水戸の梅大使を自己紹介にて御紹介させていただきます。

お手元には2022年水戸の梅大使6名の名簿がございますので、御参照いただければと思います。

なお、今回の梅大使につきましては、第60代目となります。

それでは、自己紹介のほうをお願いします。

○塩澤水戸の梅大使 皆様、こんにちは。私たちは2022年水戸の梅大使です。

私は塩澤理沙と申します。

○長嶋水戸の梅大使 長嶋栄里奈と申します。

○飯村水戸の梅大使 飯村未来と申します。

○田澤水戸の梅大使 田澤こころと申します。

○岩上水戸の梅大使 岩上りなと申します。

○高槌水戸の梅大使 高槌七海と申します。

○水戸の梅大使一同 どうぞよろしくお願いいたします。

○小林観光課長 それでは、大使の皆さんはマスクを外してください。

この6名で水戸の観光PRに取り組んでまいりますので、皆様、1年間御指導のほど、よろしくお願いいたします。

以上で、2022年水戸の梅大使の紹介を終わります。

一同、礼。

では、大使の皆さんはマスクを着用して退席してください。

[水戸の梅大使退室]

○飯田委員長 それでは、これより議事に入ります。

初めに、陳情審査を行います。

当委員会に付託され継続審査となっております、令和3年陳情第6号 コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情につきましては、継続審査にいたしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 それでは、御異議なしと認め、継続審査といたします。

以上で、陳情審査を終わります。

次に、報告事項の説明を行います。

令和3年度 偕楽園開園180年記念 第126回水戸の梅まつりについて、執行部より説明願います。  
小林観光課長。

○小林観光課長 それでは、令和3年度 偕楽園開園180年記念 第126回水戸の梅まつりについて、観光課提出の資料により御説明を申し上げます。

第126回を迎えます水戸の梅まつりにつきましては、コロナウイルスの感染状況を踏まえ、国や県の動向などを注視しつつ、現時点におきましては、感染予防対策をしっかりと講じた上で、開園180年記念を冠して開催してまいりたいと考えております。

期間につきましては、2月11日金曜日から3月21日月曜日までの39日間にわたり開催をしております。

6の行事につきましては、開幕日となります2月11日に歴代水戸の梅むすめ・梅大使の集いを開催し、今年の梅大使6名と歴代の梅むすめ・梅大使により来園者をお迎えしてまいります。

さらに、開幕日と3月5日日曜日の2日間におきまして、水戸偕楽園花火大会L i m i t e d×水戸の梅まつりと銘打ちまして、開園180年を記念するとともに、おもてなしとして花火を打ち上げ、多くの観光客の皆様を歓迎することとあわせ、水戸の偕楽園花火大会のほうもしっかりPRしてまいります。

このほか、梅まつり期間中の土曜日・日曜日を中心にしまして、2月には、みとちゃんお誕生会ファイナルや観梅着物D a yの開催のほか、梅の見頃が予想されます3月上旬には、野点茶会や大撮影会、写真コンテストなど、恒例となっている様々なイベントを開催してまいります。

恐れ入りますが、ページを返していただき、2ページのほうを御覧いただきたいと思っております。

7の協賛行事につきましては、水戸城体験絵巻といたしまして、水戸城大手門広場など水戸城跡周辺におきまして、着物の着つけや人力車体験など様々な体験メニューを用意し、誘客促進と地区の魅力向上を図ってまいります。

また、梅酒まつりにつきましては、2年ぶりとなります厳選梅酒まつり i n水戸が、3月4日金曜日から6日日曜日までの3日間にわたって開催され、70種類以上の梅酒の飲み比べ、即売会などが行われます。

8のその他の行事につきましては、前回、昨年度に引き続き、デジタルアートイベントとしまして、チームラボ偕楽園光の祭2022が2月1日火曜日から3月31日木曜日の2か月間にわたって開催されます。夜の偕楽園公園内を光のアートで幻想的な空間とし、誘客を図るものでございまして、開場時間は18時から20時30分、最終入場が20時まででございます。

入場料は大人1,800円、中高生800円、小学生以下は無料となっており、来週11日の火曜日からチケットのほうを販売する予定と伺っております。

このほか、弘道館でのイベントといたしまして、正門のライトアップのほか、八卦堂・孔子廟の特別公開などが開催される予定でございます。

続きまして、3ページを御覧願います。

ボランティア・おもてなしにつきましては、歴史アドバイザー水戸による無料観光案内をはじめ、水戸黄門愛好会による写真撮影などをこれまでと同様に行ってまいります。

続きまして、広報につきましては、チラシ、ポスター、パンフレット等の配布のほか、コロナの感染状況

によりますが、観光誘客キャンペーンや水戸の梅大使による表敬訪問、ホームページやSNSの活用などにより周知活動を行ってまいります。

なお、お手元には梅まつりの周知用パンフレットを配付しておりますので、後ほど御参照いただければと思います。

次に、11の今回の見どころでございます。主なものといたしまして、冒頭の行事予定でも申し上げましたとおり、開園180年を記念いたしまして、開幕日に歴代水戸の梅むすめ・梅大使の集いを開催し、来園者を笑顔でお迎えするほか、チームラボ偕楽園光の祭の開催などにより多くの方々を水戸に呼び込み、飲食店、宿泊事業者、交通事業者など市内の観光関連事業者の皆様への支援につながるよう努めてまいります。

今回も、昨年を引き続きまして、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら、まつりを開催してまいります。

本資料に記載しておりますとおり、偕楽園の各入園口、それから弘道館料金所での検温の実施のほか、手指消毒液の設置、会場内でのマスク着用の徹底、梅まつりに係る各種行事におきましても、各行事内容に応じたきめ細かな予防対策を講じまして、関係者にとりましても、安心・安全なまつりの運営に努めてまいります。

説明につきましては、以上でございます。

○**飯田委員長** 内容について、何か御質問等がございましたら発言を願います。

内藤委員。

○**内藤委員** ちょっと今聞いた中で、市内を人力車が走るよね。人力車は一般の方も乗れるの。

○**飯田委員長** 小林観光課長。

○**小林観光課長** ただいまの内藤委員からの御質問でございますけれども、協賛行事といたしまして、3月5日土曜日、それから6日日曜日になりますが、水戸城大手門周辺でのイベント時に人力車の無料体験をしていただく予定でございます。その2日間の日程で組んでおります。

○**飯田委員長** 内藤委員。

○**内藤委員** そうすると、お客さんを乗せて市内をずっと回るとかということはやらないんだね。大手門に入って無料で何分間か乗せてもらうという形を取るわけ。それは順番というわけじゃなくて、早く来て手を挙げて乗りたい人から先に乗るといったことなのか。

○**飯田委員長** 小林観光課長。

○**小林観光課長** ただいまの内藤委員からの具体的な内容についてですが、水戸城大手門周辺で受付のブースを設置しまして、そちらにお申込みをいただいて、その場でお乗りいただくという予定で、今立てつけをしているところでございます。

○**飯田委員長** 小泉委員。

○**小泉委員** また本年もよろしく願いいたします。数点質問させていただきます。

梅まつりの実施ということで、十分に感染症対策をしながら、これだけの長期間になるので心配事もありますけれども、ぜひ観光の目玉ですので滞りなくやっていただきたいと思っております。

そこで数点お伺いしますけれども、まず感染症対策とその実施のラインは、資料の3ページの11番の

3つ目のところ、国の緊急事態宣言ですとか、県独自の非常事態宣言等の動向も、そのラインによって途中で事業をなくすとか閉園にするとかということも考えるということで、市独自というよりは上の判断を注視するというのでよろしいですか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの小泉委員からの開催の可否判断等に係る部分の御質問でございますけれども、委員の御発言のとおり、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等の動きを注視しつつ、判断をしまいる予定でございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 それに当たってなんですけれども、やはり1日で大規模なイベントを実施したり何だりというのは結構耳にしたりとか、あとスポーツ観戦等も行われたりすると思うんですけれども、そういったものの対策を参考にしながら、やはり長期間回すというところが、感染症には相性が悪いというか、ちょっと不安なところもあると思うんですね。

そこでお伺いしますけれども、例えば、ボランティアで出ていただく方の1日当たりの人数というのはどの程度なのか。その人たちにシフト制で順繰りにやっていただくと思うので、トータルまでは分かるわけないだろうけど、1日当たりどのぐらいの人数なのか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 小泉委員の御質問にお答えをいたします。

まず、これまでやっていただいております中学生ボランティアのチーム魁のほうは、学校側とも協議いたしまして、安全面に配慮して今回も中止ということにさせていただいております。

先ほど説明申し上げました歴史アドバイザー水戸、それから水戸黄門愛好会の皆様にイベントボランティアとして活躍していただきますが、通常ベースで活動していらっしゃる人数、5名から8名の間でのシフトを考えているというふうにお伺いしています。

ただ、具体的な勤務のシフトに関しては、詳細な資料をいただいておりますので、申し上げることができません。申し訳ございません。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 5名から8名程度なんですね。あとはそれぞれ、その日によって、例えばイベントをやるに当たっての関係者、参加するとか関係者だというような感じで。その人数で回しているというのは何かすごいな。もっとたくさんいるのかなと思ったんですけれども。

そこで思いますが、やはりもてなす側の、迎え入れる側の感染症対策について、体温の確認だとか、あとは何か不調があるようだったら、先手を打ってもう出ないようにするとか、そのときにはバックアップの体制も必要だと思います。また、この実行委員会に参加していただいている多くのホテル事業者の方とか交通事業者の方とか、その現場だけじゃない、水戸全体でお客を迎え入れる、観光客を迎え入れる多くの事業所、なりわいを持たれた方々がいらっしゃると思うんですけれども、やっぱりその方々とともに、ある一定以上の緊張感を持った感染症対策というのは絶対に必要だと思っています。これで例えば、ボランティアスタッフに感染してしまったとか、そういうふうになってくると、先ほどの国・県のラインだけでなく

て、どうしてもクラスターが発生してしまったため止めざるを得ないということにもなりかねないのかなと思いますので、その辺はぜひ実行委員会全体として、再度徹底していただきたいというふうに思っております。

それと、あと感染症対策等のところなんですけれども、もちろん手指消毒液の設置ですとか、門での検温とかというのがあるんですが、今言われているのは、フィジカル・ディスタンス、ソーシャルという距離だけじゃなくて、結局人との接触の部分で言われると思うんです。やっぱり皆さん、例えば、梅大使の方がいたら梅大使のところへ集まって記念撮影するとか、または黄門様御一行との無料記念撮影があると思うんですけれども、ある意味、そういったところって、一つの接触になってしまうところでもあると思うんですよね。ですから、梅大使の方とか、こうやって出ていただく方にも、安全な現場の進行、人はどうしても集まってきてしまって、そこだけ密になるということもあると思うんですよね。そういったところでどういう対策があるのかなと。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの小泉委員からの御質問にお答えをいたします。

先ほど私のほうで、シフトの関係で一時的な対応が5名から8名と、ボランティアの活動状況の説明を申し上げましたが、ちょっと説明が不足しており申し訳ございません。

まず、歴史アドバイザー水戸につきましては、構成員が約70名いらっしゃいます。それから、水戸黄門愛好会の皆様におきましても、私どものほうで把握している人数としましては65名いらっしゃいまして、こちらの中から選別いただくという形にしております。

次に、フィジカル・ディスタンスの御質問でございますけれども、例えば、昨年、前回の梅まつりでは、水戸黄門愛好会による写真撮影において、写真を撮る際にはもちろんガイドの方も交えまして、ディスタンスのほうを確保していただくという呼びかけとともに、非接触型にするということで、愛好会の方が写真を撮るとかは控えさせていただくなど、工夫をきちんと徹底しておりました。

今回につきましても、今、感染者が増えている状況でございますので、いま一度、そのディスタンスや接触の機会の軽減などについて話し合ってくださいと予定でございます。また、ホテルや市内の関係業者の方々に対しましても、それぞれ業界ごとに出ているガイドラインがございますので、しっかりとその辺の対策をするようにということで情報共有させていただいているところでございます。

以上でございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 承知しました。

あとちょっとエリア対策として、場所によっては、どうしても人が密集してしまったりとか、例えば、見晴広場のところにはどうしても皆さんが集まられたりというのがあると思うんですけれども、そういったところというのは、何か特別な対策というのは行ったりするのでしょうか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 御質問にお答えをいたします。

エリア対策につきましても、委員の御意見のとおり、非常に大事な部分になってくるというふうに認識を

しております。ロープ等でエリアを区切り、さらに出口、入り口を別個に設けるという対策をする予定でございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 承知しました。

ぜひそういったところで徹底に徹底を重ねて御検討をされているんだと思うんですけども、開催されている最中であっても、何かこう改善ができるようなところとか、ぜひそういったところは取り組んでいただいて。また、チームラボのほうも県主催ですけれども、また今年もやるということで、私も去年見させていただきましたが、まずチームラボ自体が全国から集客できるコンテンツというのもあるんで、それをぜひ見たいということで水戸にお越しいただく方も、ある意味広範囲からお越しいただくことになるんだろうと期待しています。でも片や、皆さん御承知のとおり、まん延防止等重点措置のほうも周辺3県に指定されたというところでもありますので、そういったことを考えますと、やっぱり人流というところは気をつけながら楽しんでいただくという、その両輪を回さなくちゃならないというのが非常に難しいと思うんです。昼間の梅まつりにもたくさんの方がお越しになると思いますので、引き続き対策を徹底していただいて、何とか無事に最終日を迎えられるようになればと思いますので、期待をしたいと思います。

最後に、歴史アドバイザー水戸による無料観光案内で、実は私も数年前に参加させていただいたことがあったんですけども、今も一緒なのか分からないんですが、機材、ワイヤレスマイクというか、スピーカーになっているものが正直あまり聞こえないんですよ。20人ぐらいつつで多分観光客を回しているんだと思うんですけども、後ろにいたりとか、ちょっと風が強かったりすると、もう全然聞こえなかったりとかがあるので、そういったところのハード面も、もし必要であれば対応していただきたいというふうに思います。やっぱり一つ一つ説明を聞いて園庭を回っていただくことによって、また偕楽園の深みが伝わるものだと思いますので、必要であれば、ぜひそういったところも対応していただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 偕楽園開園180年記念の第126回の水戸の梅まつりにつきましては、今、課長のほうから詳細な御説明をいただいたように、大変すばらしい開催になるというふうに期待しておりますけれども、とにかく先ほど小泉委員からもありましたように、新型コロナウイルスの件が一番気になる。ただ昨日、市長のほうからも、前回とは違って今年度はワクチン接種も2回済んでいるということで、期待をするところなんですけれども、できるだけ踏ん張っていただいて開催していただければと思います。これは要望でございます。

それで、質問は梅大使さん、6人決まりましたけれども、この6人になった経緯をもう一度、改めてちょっと教えていただければと思います。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの五十嵐委員からの質問について、今年度の梅大使6名を御紹介させていただき

ましたが、今回から6名ということでスタートを切らせていただいております。

これまでは10名の梅大使で水戸の観光PRをしっかりとやっていたいただきました。私どもとしましては、引き続き、サービスといたしますか、情報発信のほうは低下させることなく梅大使に活躍していただきたいというふうに考えております。

数年前から他市の大使の状況調査などをしておりまして、そういった他市の状況なども参考に、また全体の観光PR、行事のボリュームなどのバランスに配慮して見直しをさせていただき、今回から6名というふうにさせていただいたところでございます。

ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルネットワークサービス、SNSのほうもしっかり活用しまして、これまで以上の情報発信に引き続き取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 梅むすめから始まって梅大使の歴史の中でずっと10名だったんですね。今回から6名になったと。1年間を通じて、やはりこの梅まつりが一番忙しい時期だと思うんですね。このときの出勤回数とかも変わらず、今まで10名いたときと同じようなスタイルでやられるんですか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの五十嵐委員からの御質問にお答えをいたします。

ローテーションの都合で観光コンベンション協会と協議を重ねてまいりまして、偶数での配置といたしますか、交代勤務も含めまして2名、4名、6名というシフトを組む必要がございます。その関係で6名いれば前のサービスと同等、あるいはそれ以上のサービスが可能だということで6名を配置させていただきました。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 6名になっても、従来どおり、土日とか出ている日、あるいは年間を通じていろいろなイベントへの協力ができるということで認識してよろしいでしょうか。分かりました。

もう一つ、2月11日に歴代の水戸の梅むすめと梅大使の集いがあるというふうにお聞きしましたけれども、現在までで何人ぐらいになるのでしょうかね。また、その中で、それぞれ散ってしまって連絡がつかない人もいらっしゃると思うんですけれども、どのぐらいの割合で連絡がつくのか、ちょっと確認させていただきたいと思います。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの五十嵐委員からの御質問にお答えをいたします。

御説明申し上げましたとおり、開幕日に梅大使・梅むすめの集いを予定しておりますけれども、昨日現在で住所が分かっている方が390名でございます。この390名の方に来週、11日火曜日に御連絡を差し上げる予定と伺っております、後ほどまた状況が分かり次第、御報告させていただきたいと思います。この390名を取りあえず私どものほうで把握しているところでございます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 過去からの総数はどのぐらいですか。

○小林観光課長 総数につきましては、今回が60代目ということでございまして、約600名ということ

になります。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 390名だから6割ぐらいは分かっているということですね。それ以外の人は分かんなくなってしまうということで、これは、強制はできませんが、今の梅大使の方に今後、いろいろ状況が変わっても、こういうことが行われる予定もあるので、引っ越しされたら引き続き連絡していただければというようなことでお願いしていけば、言ったか言わないかでちょっと違ってくるのかなと思います。今後のことも含めてね。あとはできるだけ、水戸にとっては大変貢献していただいた方たちで、やった方にとっては一生の思い出になっていると思いますので、できるだけ追求してお知らせだけはしていただければなと思います。よろしくをお願いします。

以上でございます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 年度初めですので、改めて、今年もどうぞよろしく願いいたします。

今、課長のほうから御説明いただいてありがとうございます。コロナ禍での梅まつりということで御苦労もあるのかなと思っております。このコロナ、オミクロン株が、今非常に感染率が高いというふうなことで心配されるころではありますが、経済活動を推進するのと感染対策を強化するというのは、相反する二面性を持った事業を展開するというので非常に大変なのかなと思いますけれども、やはり私は、やる時には覚悟を持ってやってほしいと。要はこれね、出るか出ないかは丁半ばくちみたいなもので、幾ら感染防止を強化しても出るときは出ちゃうというようなことをきちんと心に留めて、やっぱり覚悟を持ってやっていくということが、私は正しい対応の仕方なのかなというふうに思っております。これだけ盛りだくさんの事業でありますので、ぜひ皆さんが一致団結して、成功に導いていただきたいというふうをお願いをするところでもあります。

それと、ちょっと一つ質問なんですけれども、この関連で、観光基本計画を新たにまた策定するというふうに聞いているんですけれども、そのスケジュールをちょっと教えていただけますか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの渡辺委員からの御質問にお答えをいたします。

総合計画の期間にあわせまして、観光基本計画のほうも策定しております。新総合計画のほうを検討しておりますが、これにあわせてまたスタートできるように、現在、内部では検討を進めているところでございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 第7次総合計画にあわせながら、事業内容、構想、そういうものを決めていきたいということだと思います。

それで、ちょっとこれ意見として述べておきます。ということは、この梅まつりも今回で第126回と、回数を重ねております。やはり今後大事なことは、1つのものを深く掘り下げるべきなのか、それとも、広く浅くでもいいから水戸の魅力を発信するべきなのか、そういうところをちょっとお考えになっていただき

たいと。このチラシ、パンフレットの中にも、二の丸、三の丸周辺との連携が位置づけされておりますけれども、やはり今後はいわゆる通年型の観光を考えていかないと、交流人口は増えないと思うんです。一点集中だけでは、これ以上のものはちょっと無理なのかなと。幾ら借樂園にいろいろなイベントを盛り込んでも、大きな交流人口の増というのは見込めないし、またそれはどちらかというと、何回か来ているリピーターの方なのでお金を使わない。できれば、いわゆる通年型として、この水戸の魅力をさらに知っていただくという努力を基本計画の中に入れていかないと、また同じような形の計画になってしまうということが考えられます。今後、例えば、市民会館周辺施設の文化的な、または教育的な活用とか、連携とか、またアクセス道路、そういうものを含めた、しっかりとした計画を立てていただけるように、私は希望をしております。ぜひこの期間で、第7次総合計画といったって、来年の4月からか、そうすると。5月から、再来年にかけてか。それぐらいになるかと思えます。まずはみんなでしっかり計画を立てることが大事だというふうに思っておりますので、年頭に当たって要望をしておきます。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

ないようですので、次に、南消防署緑岡出張所改築について、執行部より説明願います。

猿田消防総務課長。

○猿田消防総務課長 では、続きまして、南消防署緑岡出張所改築について、消防総務課提出の資料により御説明いたします。

1の建設地でございますが、2ページの案内図と3ページの配置図をあわせて御覧いただきたいと思えます。

建設地は、水戸市平須町1828-246外で、茨城県庁から南に約1.0キロメートルの主要地方道水戸神栖線沿いに位置しております。

敷地面積につきましては、既存の985.13平方メートルと令和元年12月に取得した民有地998.84平方メートルをあわせて1,983.97平方メートルでございます。

2ページの案内図を御覧ください。

中央部分の計画敷地につきましては、現在の緑岡出張所を運用しながら、その東側に新庁舎を建設いたします。

3ページの配置図を御願います。

図面上、上側が西側でございますが、前面道路となる主要地方道水戸神栖線が通っております。目の細かい斜線表示となっている既存建物の東側に計画建築物の消防庁舎を配置いたしました。計画建物の北側にホースタワー、屋外設備スペースを設置しております。

既存建物解体後は、消防車両等の出動動線以外のスペースを訓練スペースとして活用いたします。

1ページにお戻りいただきまして、2の施設概要でございますが、構造は、鉄筋コンクリート造二階建て、耐震構造でございます。

延床面積は583.13平方メートルでございます。

主な諸室といたしまして、4ページの平面図とあわせて御覧いただきたいと思えます。

4 ページ下段の 1 階平面図につきましては、西側に主出入口を、東側に通用口を配置いたしまして、北東側には放水訓練のための放水壁を設けました。諸室につきましては、多目的スペース、救急消毒室、資機材洗浄・乾燥室、資機材格納庫などを配置しております。また、事務室から車庫につながる出動動線上に出動準備室を配置し、迅速、安全に出動できるよう配慮しております。

上段の 2 階平面図につきましては、女性用スペース、食堂、男子休養室などの諸室を配置しております。また、西側には訓練用のバルコニーを設置しております。

室外機スペースにつきましては、空調などの機器を設置いたします。

資料の 1 ページにお戻りください。

(4)その他といたしまして、災害時の拠点施設として必要な自家発電設備、緊急時汚水槽や雨水貯留槽などを設置してまいります。

以上で、南消防署緑岡出張所改築事業についての御説明を終了いたします。

○飯田委員長 内容について、何か御質問等がございましたら、発言をお願いします。

小泉委員。

○小泉委員 数点質問させていただきます。

こちらのほうの概算予算と予定、工期というか、期間というのはどのような予定でしょうか。

○飯田委員長 猿田消防総務課長。

○猿田消防総務課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

まず、整備スケジュールでございますけれども、令和 3 年度、4 年度に基本・実施設計と地質調査、令和 5 年度、6 年度で造成建設工事、令和 7 年度に現庁舎の解体を予定しております。

続きまして、概算事業費でございますけれども、建設工事費におおむね 3 億 5,000 万円を見込んでおります。造成外構工事費に 3,600 万円を見込んでおります。それと用地買戻しに 3,600 万円、あと消防指令室の施設工事費に 2,300 万円、解体工事費に 2,500 万円などをあわせて、総事業費につきましては 5 億 2,000 万円を見込んでおります。

以上でございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 御説明ありがとうございます。

買戻し費用というのは、どこの部分に関してなんでしょうか。

○飯田委員長 猿田消防総務課長。

○猿田消防総務課長 買戻しにつきましては、令和元年 12 月に取得した現庁舎の東側の民有地で、土地の基金のほうからお借りしているものを令和 5 年度、6 年度にかけて買戻しするものでございます。

以上でございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 承知いたしました。

あと、この辺一帯は、まさに今、新興住宅街といえますか、多くの戸建てが増していたりとか、居住人口も増えているところだと思うんですけども、この緑岡出張所の対象となる世帯数と、あと出動件数という

のは、それぞれあると思うんですけども、どういった数になるのか、もし分かれば。

○飯田委員長 猿田消防総務課長。

○猿田消防総務課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

申し訳ございませんが、周辺の人口については、ちょっと今のところ把握しておりません。

令和3年度の出動件数ですけども、緑岡出張所につきましては1,564件で、1日当たり4.2件、火災出動につきましては18件でございます。

以上でございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 恐れ入ります。本当に今、出動件数のほうをお伺いしても、非常に多い件数なんだと思います。特に、今は救急とかでも、もう1車ついていくということだと思うのでカウントになっているんだろうとは思いますが、そういったことを考えますと、やはり極めて重要な出張所なんだと思いますので、きちんと計画はなされていると思うんですけども、それに応じて訓練に関しても、きちんと敷地内で行えるような場所も必要だと思いますし、あとこれは希望でもあるんですけども、今は県のほうでは木材利用のほうを、今ウッドショックで価格が上がってなんていう話もあるんですが、木材利用のほうを推進したりとか、あとは隊員の方に関しましても、夜勤のときとか、そこで泊まれたりということもある施設だと思いますので、隊員の環境にもより配慮していただいて進めていただきたいと思います。

あと、すみません、最後に、こちらの所属の隊員数というのは何名になられるんですかね。

○飯田委員長 猿田消防総務課長。

○猿田消防総務課長 ただいまの御質問にお答えします。

緑岡出張所の職員につきましては、現在21名を配置しておりまして、隔日勤務、要は、当直する職員はそのうち7名が24時間勤務して、こちらの出張所に詰めております。

以上でございます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 まずもって、年末年始に火災予防の特別警戒を何回か聞きまして、本当に大変な時期にお疲れさまでございました。私も、昔、若い頃は火の用心してまして、やっぱり大変だけれども、団員のことも含めてお疲れさまでした。

それと、年末年始に限ることではないんですけども、救急だとかに何回も遭遇しまして、確かに水戸は、ひたちなかとか大洗とか、近隣からも来られるでしょうから、水戸市消防局のほうからもたくさん出勤していると思いますので、本当にありがとうございました。

それで、私のほうの質問は、この改築についてではないんですけども、委員長、よろしいですか。

○飯田委員長 はい。

○五十嵐委員 改築とは関係ないんですが、そもそも平須町にある出張所の名称が緑岡というのはどういうことなのか。何かいきさつがあるのか、ちょっとその辺を聞きます。

○飯田委員長 猿田消防総務課長。

○**猿田消防総務課長** 緑岡出張所の名称について、名残なんですけれども、もともと昔の緑岡村から来ておりまして、その名前をそのままずっと継続して使用させていただいているところでございます。

以上でございます。

○**飯田委員長** 五十嵐委員。

○**五十嵐委員** そういふことだと思うんですけども、この周辺を見ると、私もよく分からないんですが、この辺は平須で、緑岡とは結構離れていますよね。ちょっとその辺も含めて、ほかにもそういう村だったところの名前を使っているところはあるんでしょうか。

○**飯田委員長** 猿田消防総務課長。

○**猿田消防総務課長** 出張所につきましては、ほとんど元の名称を使っております、例えば、飯富出張所、赤塚出張所、桜ノ牧出張所、それも昔、桜野牧という町名で、その名残で名称を使用しております。水戸市の出張所につきましては、その地域にあった名称を使っているところでございます。

以上でございます。

○**飯田委員長** 五十嵐委員。

○**五十嵐委員** ありがとうございます。

歴史とか伝統というのも非常に大事だと思いますので、いきなり変えるというのは乱暴な意見になってしまいますけれども、特に大事な場所は、市民にとってぱっと分かったほうがいいのかなど。探すこともないんでしょうけれども、違うところへ行っちゃったり、誤解のもとになりますし、この際、全体的に誰が見ても自然に分かるような名称への変更も検討してはいかがかなと思いますので、一言要望しておきます。

○**飯田委員長** 要望でよろしいですか。

○**五十嵐委員** 要望で。

○**飯田委員長** ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○**飯田委員長** ないようですので、次に、水戸市女性防火クラブ連合会創立30周年記念事業について、執行部より説明願います。

石田参事兼火災予防課長。

○**石田消防局参事兼火災予防課長** それでは、水戸市女性防火クラブ連合会創立30周年記念事業について、消防局火災予防課提出の資料にて御説明をさせていただきます。

1の趣旨でございますが、創立30周年を迎え、女性防火クラブ員が一堂に集いまして、相互の交流を図るとともに、クラブの健全な発展と火災予防思想のより一層の普及を図るものでございます。

次に、2の記念事業につきましては、30周年記念式典、祝賀会、記念誌の発刊の3事業でございます。

次に、3の主催でございますが、水戸市女性防火クラブ連合会、水戸市消防局でございます。

次に、4の記念式典につきましては、令和4年2月6日日曜日、15時から17時の2時間を予定しております。

会場につきましては、千波町のザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールで開催いたします。

記念式典は、2部制として、第1部の式典では、全31クラブの団体表彰と、各クラブの会長として

10年、20年、30年御尽力いただいた11名に感謝状の贈呈を行います。第2部のアトラクションにつきましては、幼年消防クラブの園児による演奏と高校生の書道パフォーマンスと防火の誓いを実施してまいります。

次に、5の祝賀会につきましては、同日の18時から19時半の1時間半を予定しております。

場所につきましては、宮町1丁目のホテルレイクビュー水戸2階の飛天の間でございます。

裏面を返していただきまして、6の記念誌でございますが、記念誌には30年のあゆみやクラブの紹介等を掲載してまいります。

7の感染予防対策につきましては、マスク着用の徹底をはじめ、資料に記載した対策を講じた上で実施してまいりたいと考えております。

説明は以上でございますが、産業消防委員の皆様には、後日、案内状を送付させていただきますので、お忙しいところ大変申し訳ございませんが、御出席くださいますようお願い申し上げます。

以上です。

○飯田委員長 内容について、何か御質問等がございましたら、御発言を願います。

小泉委員。

○小泉委員 この後、全協もあるということなので、ちょっと端的に質問をさせていただきます。

当日、大ホールを使うということなんですけれども、何名ぐらいが来場予定でしょうか。

○飯田委員長 石田火災予防課長。

○石田消防局参事兼火災予防課長 記念式典は約500名を予定しております。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 承知しました。

あと、直接関係がないんですけれども、私も消防団をやらせていただいて、同様の問題があるんですが、やっぱり次なる担い手不足というところが、女性防火クラブに関して、なかなか難しいところだと思うんですね。ですので、そういったところから考えますと、やっぱりより知っていただくというのもひとつですし、参加していただくというのも重要なかなとも思います。何か関係するような方とか、あと幼年消防クラブの子たちが来てくれたりというのもあるんですけれども、例えば、ジュニアリーダーの子たちとか、地域の次世代を担うような方々にも、もし可能であればお越しいただいて、水戸にはそういった組織がある、またどういった目的の下に活動しているのかということも知っていただくことで周知にもつながります。また、行く行くは自分もそういうのに携わりたいというような、後進の育成にもなるのかなというふうに思います。せっかくの機会でございますので、そういったところもぜひ検討していただきたいと思います。

また、祝賀会に関しては、資料の裏面にもありますけれども、もうまさに感染状況によってはということろですよ、この状況ですから。分かりました。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら、発言を願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 今、消防の話だったので、それに関連で1つ質問させていただきます。

12月議会で我が会派の袴塚議員さんのほうから、消防指令センターの補助金が5年で切れるんじゃないかというようなことで、御心配等も含めた質問があったところでございます。今回、その件について、ちょっともう一度詳しく再確認ということで質問するんですけども、私が議長をやっていたときに、消防指令センターの各市町村の方たちとの話合いの場に、実は私も同席しておりました。今後の消防の在り方、また救急体制の、いわゆる充実というようなことを含めて消防指令センターのお話が出ていたんですけども、その折にも、5年間で時限的な補助金という話は聞いていたような記憶がございます。それで、今回その補助金のほうが切れるというようなことで、一番最初に心配されるのがやっぱり救急救命の大事な指令ですから、命に関わるような案件がそこに集中するというところで、市民にとってその辺の心配の種になるとか、また安全を担保できないというようなことが決してあってはならないというところを踏まえて、補助金と運営等について、もう一度、見解等を教えていただいて、確認をさせていただきたいということでございます。

○飯田委員長 箕輪消防局参事。

○箕輪消防局参事 ただいまの渡辺委員の御質問についてでございますが、まず、今御質問にありましたように、いばらき消防指令センター支援事業費補助金につきましては、平成29年度以降、5か年にわたって県から激変緩和措置として交付されております。これまで指令センターの運営に要する費用の一部を賄っております、重要な補助金でございます。

しかしながら、その補助金が今年度で終了ということでございますが、その後も、センターの安定的運営等を含めて影響はもちろんでございませぬ。それと指令料のほうにも影響はないと。

ただ、各構成34市町の負担増となりますことから、こちらの補助金を継続していただけるよう運営協議会構成の34市町長の連名での要望活動を行ったり、高橋靖水戸市長が会長でございますので、大井川知事に直接お会いしての要望を行ったりといったことを継続して行っているところでございます。

あわせて、事務局といたしましては、今後の運営費の縮減だったり、設備の補修、そういったものの見直しを行って、少しでも各構成団体の負担を減らせるよう精査しているところでございます。

現在、県におきましては、来年度予算がまだ確定してございませぬことから、事務局といたしましても県の担当部署への働きかけを継続してまいります。また、昨年末には協議会の役員を招集いたしまして、正副会長会議というものを行いまして、今後も継続して要望活動を行っていく方針が示されてございます。

以上でございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ありがとうございます。今のお話を聞いても、方法論として2つと。1つは高橋市長が会長をしているということで、継続して県のほうに補助金の継続を要望するというのが1つだと思います。もう一つは、負担が増になるけれども、様々な経費を削減して何とか安心、安全を担保する消防指令センターを継続していきたいと。2つなんですよね。

ここ近年、県のほうが、別に消防の補助金だけじゃなくて、様々な分野の補助金をカットしているという

ような方向性があったように記憶しております。大事な食品衛生のほうの団体の補助金をカットしたり、様々なカットをしているという中なので、できれば、これ県のほうの担当者の方にやはり事の重要性、34市町が入っていて、県全体が入っていて、今度日立も入ってくるという話も聞いていますし、ぜひそういうところを強く県のほうに何回も要望してほしいんですよ。これね、本当に命に関わる大事なものであって、皆さん方には削減とか、負担増のことを頼むよりも、できればもう少しならかに着地できるような、そういう考え方もあわせてね。例えば、1年ずつ削って行って、5年後にゼロになるみたいな、そういう方法論もあるかと思うんで、その辺のところについて、各消防の皆様方と話したり、また高橋市長を中心にぜひ県のほうに再度要望していただきたいと思います。

むしろ、私は増額して機能の向上を図るということだったら本当に嬉しいんだけど、なんだか知らないけれども、ただ単に数字のカットばかり頭にあるような気がしてしょうがないんですよ。やっぱりその数字には命があるわけだよね。その数字をただ単にカットして削減したって喜んでいる場合じゃないだよね。私はそういうふうに感じていますので、ぜひその辺のところについても、再度、皆さんで努力して県のほうにもう一度話をさせていただきたいということを要望しておきます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 もう時間もないので、1点だけちょっと確認させてください。

一昨日だったと思うんですけど、NHKのいば6の中で、海浜公園で行われていましたロック・イン・ジャパンが今年から千葉になったということを聞きました。あのニュースの中では、知事はもう知っていて要望活動をしていたというのも分かりましたけれども、近隣のひたちなか市さんとか、私どもの本市では、いつ知ったのかだけちょっと確認したい。その千葉に移動するという。報道に伴ってなのか、それとも何日か前なのか。それだけ確認しておきます。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの五十嵐委員からのロック・イン・ジャパンの千葉のほうでの開催の件につきまして、私どものほうには公式にお話はございませんで、私どもも報道で知ったところです。

○飯田委員長 ほかに質疑はございませんか。

ないようですので、次に、当委員会の意見を聞く会の開催についてでございます。

前回の委員会において、正副委員長に一任いただきました日程等の調整の結果、2月10日木曜日に当委員会室において水戸農業協同組合との意見を聞く会を開催することになりましたので、よろしく願いいたします。

なお、本件の運営等の詳細につきましては、正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

なお、本件につきまして、後日、改めて通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会します。

御苦労さまでした。

午後 2時30分 散会